



# 爽風 2023

## 『感動は推進力だ』

大谷選手のグローブについて前号でもお知らせしましたが、この言葉は、その大谷選手を指導された栗山英樹氏が大切にされている考えです。（「栗山ノート」より）

「感動する」とは「心を動かされること」として、指導する選手の心を動かしてあげたい、そして内発的動機を促し、そうすると選手自らが「動」いてくれるようになる、その一連の流れを心の中に持って行動されています。

いずれは自己判断をして自立していかないといけない子供たちです。学校生活でも多く感動する機会（日々の授業や当番活動等から）があり、今後も出来事に対して「考えが持てる・表現できる」ことを図っていきます。ご家庭でもお子様が感じたり考えたりしたことについて、「どうして」や「どうしたい」等の声かけをお願いしたいものです。

先週も多様な活動や取組がありました。それぞれよい家庭の話題になりますね。

### 『ちびっこ寄席』

文化庁の事業により、今回は「寄席の世界」を鑑賞しました。

6年生はなぞかけ発表やお茶子の役等の体験の場がありました。落語や和妻、かっぽれ踊りで、笑いの中に初めて知る日本の文化芸能を堪能することができました。「すごい」という表現も多く聞かれたよい学びの場でした。

### 『書き初め会』

平安時代から続く、新年に気持ちを新たに、書の上達を願う行事です。熱心に鉛筆や筆を動かしていましたが、手応えはどうでしょう。学級部会に合わせて展示しますので、どうぞご覧ください。



### 6年「薬物乱用防止教室」

元山薬剤師さんを講師に、一生持ち続けたいいけない行動力についての学習でした。身近なところにある薬物、関わりを持つとすると人もいる話や人格が壊れる例に驚くと共に考えを持つきっかけになりました。



### 『縄跳びカードの取組』

耐寒や体力・技能向上をねらった取組です。当然「できた!」、「自信をつける!」そして「友だちと関わりあう!」等の心情面の向上も意図しています。スタートして張り切って運動する子がいますが、継続には称賛の声かけも必要です。よろしくお願いします。

## 寒の内

先日20日は「大寒」でしたが、言葉のような寒さは感じられませんでしたね。ただ「立春」前日の「節分」までは『寒の内』と言い、1年中で一番寒い時期です。今週から寒さレベルが急上昇です。服装等の対応をお願いすると共に、登校時の対応判断が必要になることも考えられます。どうぞよろしくお願いします。

